

## 12月1日（木）「1年理数科課題研究のための講演会」

本校SSH運営指導委員 前田義幸さん、早稲田大学先進理工学部大学院生 宇山慧佑さんを招いて、「1年理数科課題研究のための講演会」を開催しました。今年は益田高校理数科1年生30名と浜田高校理数科1年生27名が参加しました。

前田さんからは研究のテーマをどのように見つけることができるか、そして研究の楽しさ、研究の方法（どこまで進められたか、何が分かったか、何が分からないか、何ができそうか、研究成果をどう伝えるか）についてお話がありました。また国際学生科学技術フェア (ISEF) の世界大会に日本代表として出場された宇山さんからは、大会の様子やどのような研究が参加しているのか説明がありました。世界中の学生が参加し、高いレベルのポスターセッションが行われ、イベントもたくさんあり、熱気あふれる魅力的な科学の大会であることが分かりました。日本学生科学賞や高校生科学技術チャレンジに応募し、ISEFの世界大会に参加できるようにチャレンジしてほしいと励まされました。

また研究について、研究の手順に沿って教えていただきました。自分たちが考えた仮説に従って、実験のデータをどのようにまとめ、実験の結果から分かることを考察し、結果を導くためにはどうすればよいのかを説明していただきました。また「教科書・本に書かれているからといって本当とは限らない。」「公的な機関が出している研究結果のグラフでさえも疑ってみる必要がある。」などのお話がありました。そして自分の実験から得られたデータはひとつひとつ細心の注意を払って考察してほしい、そのなかで大発見が隠れているかもしれないなどこれから研究や学習を行う上でヒントになることをたくさん教えていただきました。

